

令和 7 年度 津市立三重短期大学外部評価委員会 報告書

1 日 時 令和 7 年 8 月 5 日（火） 17 時～19 時 30 分

2 場 所 津市立三重短期大学管理棟 2 階 演習室 1

3 出席者

(1) 外部評価委員 出席 5 名

栗原廣海委員長、伊藤公昭委員、伊藤文子委員、谷崎朝美委員 仲律子委員

(2) 事務局 出席 8 名

村井学長、別府事務局長、山口事務局次長兼大学総務課長、古畑学生部長、石原図書館長兼地域連携センター長、今本法経科長、駒田食物栄養学科長、北村生活科学科長

4 委員のご意見・ご質問

- ・「卒業生満足度調査」では、TASKROOM や事務局の職員に対する意見が散見される。相談員を複数体制にするなどの工夫が必要ではないか。また、職員が事務仕事に忙殺されていることも、学生対応への影響を引き起こす一因と考えられる。業務の ICT 化が必要ではないか
- ・今年度からポータルシステムを導入したとのことだが、システムの名称は？また、同システムには個人情報も掲載されていると思うが、アクセス権の管理はどのように行っているのか。
- ・卒業生の「進路決定の状況」資料の中で、「既職・不詳等」とまとめられているが、「既職」と「不詳」は別々にデータ管理すべきではないか。
- ・学内掲示板に掲示物が多い。学生が見逃して機会を失うことがないように、ポータルサイトを見れば全部分かるような整備が必要ではないか。
- ・「新入生アンケート」では「受験経路」として「高校の紹介」が多い。高校との連携が今後一層重要になるのではないか。法経科第 2 部については、「受験経路」は「家族知人の紹介」が 4 割を超えている。マスコミを活用して地域連携活動を PR するなど、大学の存在感をもっとアピールすべきではないか。
- ・今後、法経科第 2 部への 18 歳、19 歳の入学者増は見込めない。カリキュラム対象を変え、リカレント教育もしくはリスクリテラシー教育にシフトすべきではないか。
- ・「2025 年度キャリア支援方針」には「栄養士職・福祉職希望者への対応」はあるが、建築士資格に関連する就職支援の記載がない。どのような資格が取得でき、どこに就職できるのかという情報は志願者確保に大切ではないか。
- ・今後一層多様な高校からの入学生が増えていく。大学での学びをより良いものにするた

めにも、リメディアル教育、入学後のフォローが一層大切になってくるのではないかな。

- ・社会福祉士の仕事について、生徒の親世代が正確に理解できていないのではないかな。社会福祉士の仕事の特徴や意義を適切に PR し、志願者確保につなげるべきではないかな。
- ・学食の改修が必要ではないかな。また学内女性用トイレが少ないのではないかな。校舎棟入り口付近に少し椅子が置いてあるが、学生の集いの場の整備が望ましいのではないかな。

5 提言

- ・申請書類の電子化が必要ではないかな。工夫次第で大きな予算なく取り組める可能性もある。進められる部分から進めて、少しでも効率化を図るべきではないかな。
- ・津市の予算措置を受けて運営されている短期大学であり、市民に向けて、本学があって良かったという卒業生の声や、本学の良さを PR できるエピソードを HP に掲載するなどの取り組みをすべきではないかな。また、失敗はしたけれど再チャレンジできるなど、本学の良さをアピールするキャッチコピー等の掲載も検討すべきではないかな。
- ・ポータルサイトの導入は評価できる。以前より一層多様な学生が入学していると思われ、1人1人の特性に合わせた支援の水準を高めていくことが必要ではないかな。
- ・人口減少に伴い、今後県内、市内の高校の再編は避けられない。その一方県内の大学数は少ない。本委員会の委員のアイデア等を取り入れながら、課題に丁寧に取り組み、短大としての運営に活かしていくべきではないかな。
- ・事務局全体の ICT 化をすすめてバックヤードの仕事を減らし、職員が来訪者や学生との面談等に時間を有効活用できるようつとめるべきではないかな。
- ・学生が、入学して良かったと思える2年間にすることが大事であり、そのためにキャンパスを美しく夢のある場所に整備することが大切ではないかな。
- ・県内は人口の多いところと少ないところが明確に分かれており、県内にとどまりたいという割合も一定数ある。ターゲットを絞りマーケティングに工夫が必要ではないかな。
- ・『FD・SD 活動報告書』の「改善を求めたい講義」に「教員がほぼ毎日授業に遅れてきていた」との学生からの指摘がある。こうした学生の声を授業改善に有効につなげるべきではないかな。
- ・学外から講師を招いて「FD・SD 研修会」を開催し、教員は全員参加している一方、職員の参加人数が少ない。FD 活動だけでなく SD 活動も充実させ、職員と教員で様々な問題点を共有すべきではないかな。
- ・どの教室においても学生が不便なく使えるように、施設内の Wi-Fi の整備は不可欠ではないかな。